

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 レーンマジック・リバイバル	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.530	△RG 0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 番

PAPからピンとの距離
5 1/4 インチ

研磨剤

比較対照ボール：コンプリート・アニヒレーション2

フレアーの幅 インチ

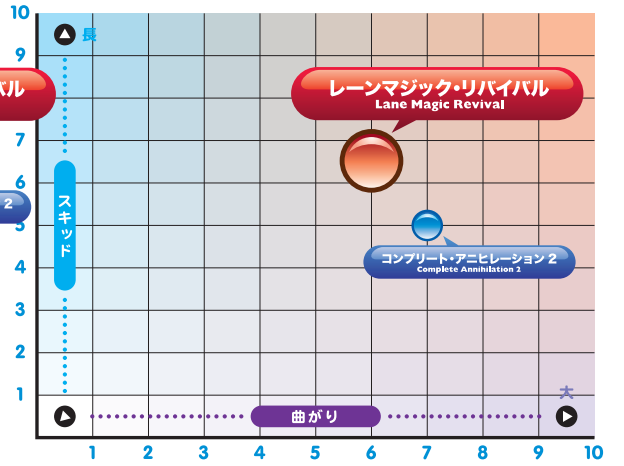
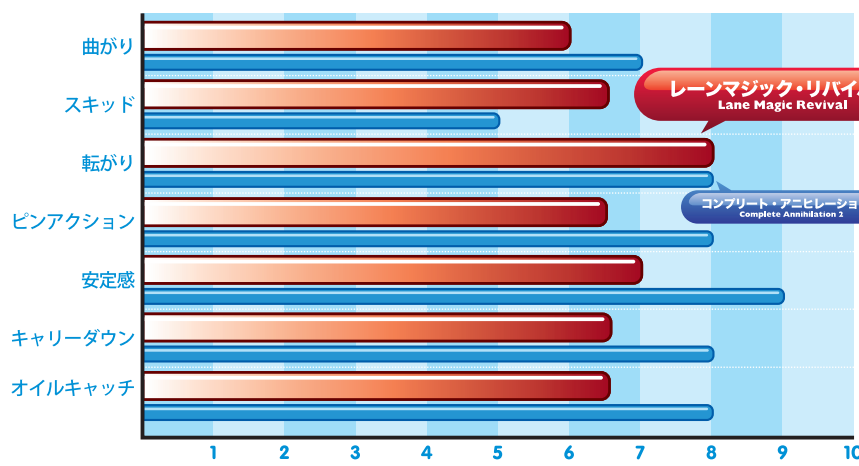
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 番

PAPからピンとの距離
5 1/4 インチ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レンジス
Light Oil	Smooth	Early Roll
Light to Medium	Smooth to Arc	Early to Med
Medium Oil	Arc	Med-Lane
Medium to Heavy	Arc to Sharp	Med to Late
Heavy Oil	Sharp Angle	Late Roll

ボールの評価

ABS とモーリッチ社の伝説は「初代レーンマジック」から始まり、モーリッチ社の「マスバイアスコア」は圧倒的なポテンシャルを導き出せるものと世に知らしめた作品でもありました。その中でも「デュアルフリップコア」は、日本のボウラーにとっては走り・切れを存分に感じさせる事が出来るコアです。しかし、今回でこの「デュアルフリップコア」は**「最終品」となります。**言うなればこの人気の高いスペシャルコアはレーンマジックで始まり、レーンマジックで完結します。最終品に相応しくモーリッチ社の生粋のリアクティブで一番オイルに強い「C4 エンハンスド」に特殊添加物「ALPHA」を搭載し、さらにミッドレーンでの軽快なスキッドを得られるようにパール素材を混入しました。私が投球した感じでは、オイルに強いカバーストックを採用しているのですが、**パール素材特有の軽快なスキッドがミディアムコンディションに非常にマッチし、切れるというよりは私の場合フッキングが奥になってピンに寄っていくイメージです。**比較投球したコンプリートアニヒレーションの方が手前からの動きが強い為、全体的な曲がり幅は大きく感じますが、**アクシスローテーション・ティルト・スピードによりバックエンドでの動きが非常に素直に出るボールの仕上がりに感じます。**まさにMAGICです。また、ボウラータイプは違いますが、実際投球した山本勲プロ・黒田仙雄プロ・谷口隆プロに話を聞いてみると、心地よいスキッドを感じながらもバックエンドでの動きはコンプリートアニヒレーションIIよりもしっかりと曲がってくるイメージを持っている様です。

特記事項

開発コンセプトとしては、**オイルに強いカバー**を採用していますが、パール素材特有のオイルの感じ方が軽快なスキッドを与え、より奥でのリアクションが強調されたボールです。スピード無い女性にもお勧めです。オイルの中をタイトに投げるのであれば、1000番のアブラロンで軽くあてるといいですね。